

「キャリアパス講演」で講演しました

～事務局だより～

平成 28 年に高専の学科が改組となり創造工学科となってから、創造工学という授業が行われています。

その中でキャリアデザインの部門があり、コミュニケーション学習や社会勉強として企業との関わりを持つ授業が展開されていますが、OB、OGが参加、協力する機会が何度かあります。

11 月 19 日(木)にそのうちの一つである「キャリアパス講演」が行われました。

創造工学科の 1 年生を対象としていますが、私たちと違うのは 1 年生がまだ系(学科)に分かれておらず、総合学級であるということです。

2 年生になる前に各々が希望する系(学科)を選択し、成績等を考慮されて振り分けられていき、2 年生で初めて各系(学科)の勉強をしていくのです。

最初から学科に分かれて勉強していても将来が漠然としていた私たちよりも、どんな職業に就くことができるのか、もっと言えば将来どんな選択ができるのかが不明瞭かもしれません。

OBの講演を聞くことによって、自分の社会人となった時のイメージを作ることできる、系(学科)の選択するときの判断基準にもなりえる大事な授業になると思うのです。



吉田 陽輔 氏 (土木 21 期)



加藤 史広 氏（機械 29 期）

今回も上記のお二方に樽前会を通して依頼を頂き、1 年生を前に講演を行いました。

吉田氏は成績下位から 5 年かけて上位へ上がっていく下剋上と名付けた話と、現在の仕事についてやりがいなども含めての話です。

成績は努力であげられる、その中で友人関係の大切さも解いていきます。

加藤氏は学生時代からどのように今の職業を選択していったのか、そして社会人になってからも勉強し、資格（技術士です！）を取ることの大切さやメリットを通して、仕事というものを丁寧に学生に話をしていきます。

今回は観に行けなかったのですが、キャリア教育センターの先生、職員さんを通して、キャリアパス講演に携わった先生へインタビューを致しました。

① 今回の講師の内容を聞いた感想

「入学当初成績が悪かった人が頑張って上に行った」、という話と「会社でもいろいろ頑張って資格を取ると良い」という話で成績の良い学生もそうでない学生も興味を持って良かった。

まさに OB が伝えたいと思っていたことがそのまま学生の気持ちに届いたようです。

② 学生と講師のディスカッションで印象に残ったやりとり

加藤さんの講話:「資格を取るのにどのくらい勉強しましたか？」

「土、日をつぶして勉強した」

吉田さんの講話:「成績の良い人のノートを借りて勉強すると良いとのことでしたが、頭の良い人のノートは普通の人とのノートと何処が違いましたか？」

「成績の良い人のノートは黒板の丸写しではなく非常に良く整理されていた」

学生時代にテストを乗り越えていくには要領も必要だった気がします。

社会人になっても努力が必要だと今のうちに知る良い機会だったのではないのでしょうか。

③ 学生の聞いている時の様子

寝る学生もいなくて皆まじめに聞いていたので担当教員としては「ほっと」している。

正直な感想ありがとうございます(笑)

④ アンケートでの印象に残っている感想

- ・話がとてもききやすかった。(多数)
- ・社会人のリアルな声をきけてとても良かった。(多数)
- ・魅力的な講演内容だった。集中して話が聞けた(多数)

という講演そのものの感想もありましたが、

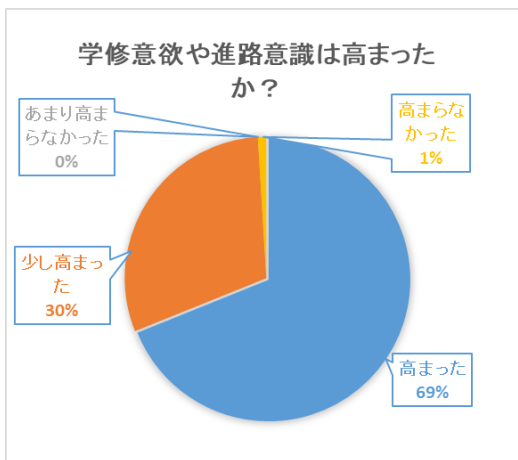
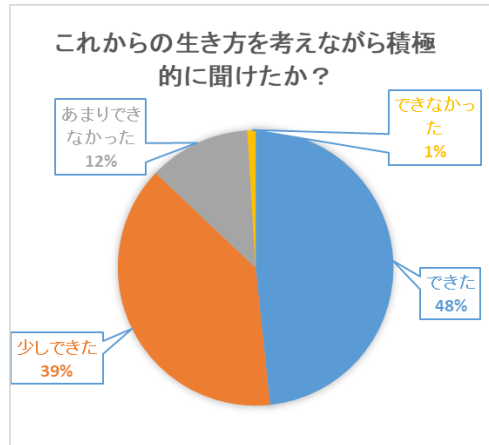
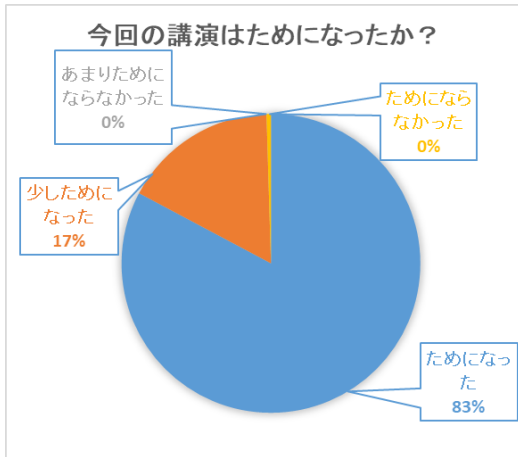
- ・諦めずに努力を怠らなければ未来への希望がもてるということが分かって励みになった(多数)
- ・自分の将来について考える良い機会になった(多数)
- ・諦めずに努力を怠らなければ未来への希望がもてるということが分かって励みになった(多数)

などの将来について考えにつながる感想も多数ありました。

- ・最近、勉強や生活でのストレスが多かったが、講演をきいて心が楽になった。
- ・先輩方の話をきき、自分に足りないものがたくさんあると気づけた。
- ・自分の希望の系以外にも興味ももてた。

など、いろいろな少数意見もあったようです。

間違いなく、学生のこれからの生活、系選択、社会人になる過程の参考のなっていくと思います。



アンケート結果を簡単にまとめたものもいただきました。

学生にも好評だったのがわかります。

これからも樽前会として学生のために協力していけたらと思います。